

れんごう鳥取



2025年2月1日
No.2



二次元コードで
HPへGo!!

発行: 日本労働組合総連合会鳥取県連合会
 発行人: 山口一樹 編集人: 谷本 寛
 住所: 〒680-0847 鳥取市天神町30-5
 TEL (0857) 26-6605 FAX (0857) 26-6615
 E-mail: tottori@tottori.jtuc-rengo.jp
 ホームページ: https://jtuc-tottori.jp

2025年は「巳年(みどし)・乙巳(きのとみ)」 新たな経験や挑戦を通して 進化の年にしていこう - 2025 新春のつどい開催 -



鏡開き
よいしょ!!

左から/
平川雅浩鳥取労働局長 興治英夫立憲民主党鳥取県総支部連合会副代表
山口一樹連合鳥取会長 亀井一賀鳥取県副知事
田中穂中国労働金庫副理事長 松崎浩哉こくみん共済coop鳥取推進本部長
山崎隆副会長 森田香里副会長



主催者あいさつ 来賓あいさつ
 オープニング/傘踊り 写真左/田中中国労働金庫副理事長
 「我龍天晴」のみなさん 乾杯!
 写真上段(左から)/山口会長 亀井鳥取県副知事 平川鳥取労働局長
 興治立憲民主党鳥取県連副代表 湯原俊二推薦予定候補者

1月17日(金)ホテルモナーク鳥取(鳥取市)に、来賓25人と構成組織役員・組合員および連合鳥取役職員82人の総勢107人(うち女性23人・女性参画率21.5%)が集い、連合鳥取「2025新春のつどい」を開催しました。

【オープニング】

冒頭、30年前の1月17日に発生した「阪神淡路大震災」の犠牲者のみなさんに参加者全員で黙祷を捧げました。その後、傘踊りチームの「我龍天晴(がりがりようてんせい)」のみなさんを迎え、「きなんせ節」など3曲、息の合ったダイナミックな踊りを披露いただき、新春のつどいをスタートしました。

【山口一樹会長あいさつ(抜粋)】

近年頻発する災害に十分な対策がとれていない。全国どこで起きるか分からないので注意が必要である。世界各地で起きている戦争・軍事侵攻は平和に対する暴挙であり、最大の人権侵害である。一日も早い停戦を求め、平和な日常が戻ることを願う。2025春闘は、高水準となった昨年春闘の流れを引き継ぎ経済を活性化するうえで、「賃上げがあたりまえの社会」をつくりあげるものとした。また、中小企業の賃上げを確実にするため「価格転嫁」が必要である。昨年の衆議院議員選挙の結果から、私たちの一票は決して無駄ではないことが明らかになった。働く者、生活者の立場に立った政治を実現するために、政権交代「第二夜」に向けてがんばろう。

【来賓祝辞】

来賓を代表して、鳥取県の亀井一賀副知事、鳥取労働局長の平川雅浩局長、立憲民主党鳥取県総支部連合会の興治英夫副代表からご祝辞をいただきました。

【鏡開き&乾杯など】

来賓と連合会長、副会長による「鏡開き」と、中国労働金庫の田中穂副理事長の発声による「乾杯」で、2025年の門出を祝い、交流を深めました。

【湯原俊二 予定候補者から推薦決定への決意表明】

連合鳥取は、前段に開催した「第2回(拡大)執行委員会」において「第51回衆議院議員選挙に再挑戦される湯原俊二さんの推薦を決定しました。

連合鳥取は、「組織拡大・強化」「男女平等・ジェンダー平等の推進」「政策課題の実現」など諸課題の実現に向け、鳥取県内雇用労働者の代表として、「必ずそばにいる存在」となるべく運動を展開していく。

それを受けて、湯原俊二さんより「推薦決定」へのお礼と、「何としても次期衆議院議員選挙で議員に返り咲き、みなさんとともに政権交代をめざしたい」との決意表明がありました。



参加者全員で黙祷

会場の様子



左から/司会進行: 河村正之事務局長
閉会あいさつ: 細砂直副会長

あなたのまわりで悩んでいる人にご紹介ください

2025年 2/13(木)~14(金) 10:00~19:00

フリ ダイヤル いごうよ れんごうに 0120-154-052

LINEで相談! 期間限定 2月13日(木)~14日(金) 10:00~15:00 (最終受付14:30)

東・中・西部地協「2025新春のつどい」を開催

連合鳥取の東部・中部・西部地域協議会は、それぞれ多くのご来賓（連合鳥取推薦議員、行政関係者、労働・福祉事業団体、鳥取退職者連合など）、組合役員・組合員にご参加いただき、毎年恒例の「新春のつどい」を開催しました。各地域協議会とも、「買おう・使おう仲間の商品・仲間のサービス」をモットーに賞品を準備した「抽選会」を行い、賞品が当たる度に会場は笑顔であふれていました。

東部地協 1月21日(火)
／白兔会館(鳥取市):75人

・新春福引大会／
JP労組の豪華な商品&参加者全員に
白バラ商事労組の参加賞を準備



福引大会
大当たり!!
元気に乾杯!

議長賞「鳥取産 朝ゆで松葉カニ」
賞品を手渡す土師佑太議長(右)



「回結ぶ〜い!」

中部地協 1月15日(水)
／倉吉シティホテル:54人

・お楽しみ抽選会／
構成組織の賞品17本・連合鳥取&
事業団体提供賞品



かんぱ〜い!! ◊お楽しみ抽選会◊

仲間の賞品おめでとう!!
賞品を手渡す盛山修議長代行(中央)



「今年も回結してがんばろう!」

西部地協 1月24日(金)
／ANAクラウンプラザホテル米子:85人

・福引大抽選会／
産別・単組提供の賞品を含め
60本の賞品を準備



歓談の様子

福引大抽選会／
抽選番号を引く
木村幸宏議長



締めのカンバイ!!

連合鳥取2025春季生活闘争方針を決定 〈全文は〉

連合鳥取は「第2回(拡大)執行委員会(2025.1.17開催)」において、「連合鳥取2025春季生活闘争方針」を決定しました。

- ◆ 四半世紀に及ぶ慢性デフレに終止符を打ち、動き始めた賃金、経済、物価を安定した巡航軌道に乗せる年とし、すべての働く人の持続的な生活向上をはかり、新たなステージを定着させることをめざす。
- ◆ あらゆる格差是正と分配構造の転換をセットで進めるとともに、中期的視点を持って「人への投資」と月例賃金の改善に全力を尽くす。
- ◆ 地域社会への波及効果をめざし、県内の地域春闘をけん引する。

取り組みの具体化

I. 事前労使協議の徹底

II. 雇用の安定確保

III. 連合鳥取「重点取り組み課題」

※全構成組織が必ず要求書を提出し地域春闘を展開する

＜2025春季生活闘争＞	設定の考え方
i. 有期・短時間・契約等で働く労働者を含めたすべての労働者の処遇改善	連合の重要課題であり引き続き取り組む
ii. 企業内最低賃金の協定化(水準引き上げ)	未協定組合は必須
iii. 総実労働時間の短縮と時間外割増率の引き上げ	「働き方改革関連法」の趣旨と意義を踏まえ、職場の基盤づくりに引き続き取り組む
iv. 希望者全員の65歳までの雇用確保と処遇改善	雇用と年金の接続を確実にするためのチェック機能を果たす

IV. 取り組みの環境づくり

■賃上げ要求

1. 月例賃金引き上げ

- ① 定期昇給相当(賃金カーブ維持相当)分の確保を大前提とした上で、物価上昇分の確保にとどまらず、継続的な「人への投資」と「デフレマインド」の払拭に寄与し得る賃金引き上げをめざす。
- ② 具体的な要求設定額は、連合方針(5%程度)を踏まえ、水準改善(ベア分)3%以上を基準とし、定期昇給相当(賃金カーブ維持相当分)2%、地域間・企業規模間格差是正分1%の6%以上を要求する。
- ③ 企業内最低賃金の協定化に取り組む。

2. 中小組合の取り組み(規模間格差是正)

連合鳥取として地域間格差・中小・地場組合に対する参考数値を以下の通り提示する。

連合鳥取個別賃金実態調査(2024年10月結果) ()は、2023年10月結果

全産業・男女計人数	4,700人(4,738人)
平均年齢	40.8歳(40.9歳)
平均勤続	15.2年(15.7年)
平均賃金	243,326円(226,055円)
1次回帰式(20~40歳)1年・1歳間差	3,714円(3,965円)

＜賃金引き上げ要求目安＞

- ① 産業全体の「底上げ」「底支え」として賃上げ(ベア3%以上)を要求する
=243,326円×3%以上=7,300円以上

- ② 賃金カーブの維持相当分(2%)を要求する。
=243,326円×2%=4,900円

- ③ 地域間の賃金相場を「底上げ」し、地域間・企業規模間の「格差是正」を進める。
=243,326円×1%=2,500円

具体的には、
①7,300円以上+②4,900円+③2,500円=14,700円以上

- ④ 連合鳥取として時間額引き上げ要求目安を、90円/h以上とする。
※賃金引き上げ要求目安14,700円を月所定労働165時間で除した時間給=89.1円。

＜賃金水準改善のための水準値および「地域ミニマム賃金」の目標設定＞

年齢ポイント	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳
到達すべき水準値	183,500円	196,100円	213,100円	230,000円	253,300円
地域ミニマム賃金	173,800円	179,800円	192,800円	208,200円	221,700円

*到達すべき水準値=個別賃金データ各年齢ポイント平均値をベースに連合鳥取独自設定

*地域ミニマム賃金=全産業・男女計、第1四分位の3次回帰を基本に設定

*41歳以上については、年齢別賃金特性値参照(地域ミニマム賃金チェック指標)

3. 男女間賃金格差および生活関連手当支給基準の是正の取り組み

4. 18歳高卒初任給の参考目標値…… 176,800円

5. 生活防衛の観点からの一時金水準の確保・向上

6. 生活・職務関連手当等の引上げ

7. 企業内最低賃金の取り組みの強化

■「すべての労働者の立場にたった働き方」の見直し

1. 長時間労働の是正

2. すべての労働者の雇用安定に向けた取り組み

3. 職場における均等待遇実現に向けた取り組み

4. 人材育成と教育訓練の充実

5. 60歳以降の高齢期における雇用と処遇に関する取り組み

6. テレワーク導入にあたっての労働組合の取り組み

7. 障がい者雇用に関する取り組み

8. 中小企業、有期・短時間・派遣等で働く労働者の退職給付制度の整備

9. 短時間労働者に対する社会保険の適用拡大に関する取り組み

10. 治療と仕事の両立の推進に関する取り組み

次期衆議院議員総選挙に湯原俊二さんを推薦決定

連合鳥取は、「第2回(拡大)執行委員会(1月17日開催)」において、次期衆議院議員選挙(鳥取県第2区)に再チャレンジを決意された 湯原俊二 前衆議院議員を推薦することを決定しました。

組合員のみなさまのご支援、ご家族、ご友人、知人のみなさまへのご周知をよろしくお願い致します。

湯原 俊二 (62歳/立憲民主党) (2025年1月17日時点の年齢/推薦依頼組織)

経歴 1995年 4月～2008年 9月 鳥取県議会議員(連続4期)
 2009年 8月～2012年11月 衆議院議員(1期目)
 2021年10月～2024年10月 衆議院議員(2期目)



山口会長(左)と湯原俊二さん

これから社会に出る若者に “労働組合&連合”を知ってほしい ー鳥取大学で「出前授業」を開催ー

1月21日(火)、河村正之事務局長が鳥取大学に出向き、1年生約80人を対象に出前授業を行いました。

「労働組合って何?」「連合って何?」「連合鳥取って何をしているの?」と題し、資料を基に分かりやすく説明を行いました。

授業を受けた学生たちはメモを取りながら熱心に講義を受けていました。

講義終了後に、連合作成の「働くみんなにスターBOOK」を配布するとともに、河村事務局長から学生たちへエールを送って出前授業を終了しました。



Information ※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

2025春闘勝利総決起集会

◎3地協統一行動で開催!

2025年2月27日(木) 18時30分開会

- 東部地協/鳥取駅前風紋広場 ※敬愛高校前までデモ行進
- 中部地協/倉吉体育文化会館駐車場 ※JR倉吉駅前までデモ行進
- 西部地協/米子市公会堂前庭 ※加茂町2丁目交差点までデモ行進 ※各地協より案内しています。



メインスローガン: みんなでつくろう! 賃上げがあたりまえの社会 サブスローガン: みんなでつくろう! 働く仲間の労働組合

ジェンダー平等・多様性の推進

- ①女性活躍推進法および男女雇用機会均等法の周知徹底と点検活動
- ②あらゆるハラスメント対策と差別禁止の取り組み
- ③育児や介護と仕事の両立に向けた環境整備
- ④次世代育成支援対策推進法にもとづく取り組みの推進

「ビジネスと人権」の取り組み

- ①実情に応じた取り組み方針の策定
- ②教育・研修の実施
- ③労使協議の機会確保
- ④人権尊重方針の策定を求める
- ⑤人権尊重の実効ある取り組みを求める
- ⑥苦情処理メカニズムの構築を働きかける
- ⑦人権尊重の取り組みの検証と情報公開を求める

運動の両輪としての「政策・制度実現の取り組み」

- ①2025年度予算編成と政策制度実現の取り組み
- ②価格転嫁や取引適正化に繋がる諸施策の実効性を高める取り組み
- ③公的年金制度の改正や、社会保障サービスを担う人材の処遇改善に向けた取り組み
- ④すべての労働者の雇用安定・人への投資拡充に向けた取り組み
- ⑤働く者のための労働基準関係法制の実現に向けた取り組み
- ⑥あらゆるハラスメント対策と差別禁止の取り組み
- ⑦学校職場における長時間労働是正と教職員への負担軽減の取り組み

闘いの展開

1. 春季生活闘争体制の立ち上げ

(1)「闘争委員会」を設置

- ①構成: 執行委員会メンバー ②役割: 闘争方針に基づき企画・運営を行う

(2)「中小共闘センター」立ち上げ

- ①構成: 中小労働局長、連合鳥取専従役員、中小労組を組織する産別を中心に次の組織より各1人(自治労・UAゼンセン・電機連合・JAM・JR連合・紙パ連合・全国農団労・自動車総連・運輸労連・交通労連・私鉄総連・フード連合・全国ガス)
- ②役割: 中小労組の情報交換や闘争支援を行う

(3)「連合鳥取2025春季生活闘争開始宣言集会」の開催

- ①日時 2025年2月1日(土)13時00分～
- ②場所 倉吉体育文化会館 大会議室
- ③内容 ・連合鳥取2025春闘方針提起
・取り組み事例報告(UAゼンセン・私鉄総連)

2. 要求書の提出と集中的交渉・決着時期の設定

- ①職場総点検活動/2月
- ②要求書の提出/3月上旬まで(遅くとも3月末まで)

- ③集中交渉・決着/3月中旬～4月に交渉、4月中旬までの決着に最大限努力する。

3. 具体的な取り組み

(1)情報の収集と提供

- ①各構成組織の要求・妥結状況について情報収集と速報を適宜発行する。

(2)中小共闘センターの取り組み

- ①中小共闘センター幹事会
 - 第1回/1月27日(月) ○第2回/4月上旬
 - 第3回/7月上旬
- ②未加盟組合(産別未加盟)へのオルグ
 - 専従役員で2月中旬に取り組み。
- ③未解決組合激励・支援行動
 - 情勢を見極めつつ、中小共闘センター幹事会で検討する。
 - すべての県内労働者への波及効果を狙い、要求状況(3月)、要求・妥結状況(4月)、最終回答状況(7月)をマスコミに公表する。

(3)集会などの開催

- ①各地協単組代表者会議(拡大幹事会等)の開催
 - 各地協にて具体的な取り組みへの意識合わせを目的とする

東部地協	2月20日(木) 18時30分～	ざざんか会館
中部地協	2月18日(火) 18時30分～	倉吉体育文化会館
西部地協	2月19日(水) 18時30分～	米子コンベンションセンター

- ②春闘勝利総決起集会の開催
 - 実施日 2月27日(木)/県内3か所
- ③連合鳥取女性委員会「3.8国際女性デー『学習会』」の開催
 - 実施時期 3月8日(土)予定
- ④経営者団体への対応
 - 働き方改革、賃金・労働諸条件、価格転嫁策等について、経営者側諸団体との意見交換会を設定するなど、実効ある取り組みを行う。
 - 実施日 2月10日(月) 15時00分～/鳥取シティホテル
- ⑤行政機関への要請
 - 鳥取県版政労使会議や価格転嫁円滑化に関する要請など、情勢を見極めつつ、交渉支援につながる行動に取り組む。

(6)全国一斉労働相談

(7)街頭宣伝活動

- ①「連合アクション統一行動」街宣を3地協で実施する。
- ②社会的キャンペーンなどに連携して取り組む。
- ③街宣車による街宣行動は、3月上旬～4月下旬の期間、週2回実施を基本に取り組む。
- ④政策制度に関わる連合全体として取り組む行動については、官民一体となって積極的に対応していく。

HPに掲載

Information		連合鳥取 2025年度活動計画			
2月	1日(土) 10日(月)	2025春季生活闘争開始宣言集会(13時00分~/倉吉体育文化会館) 2025春季生活闘争 経営者団体との意見交換会(15時00分~/鳥取シティホテル)	7月	5日(土) 17日(木)	労働政策セミナー・政策討論集会(予定) 第8回(拡大)執行委員会
	13日(木) // 13日(木)~14日(金) 18日(火) 19日(水) 20日(木) 27日(木)	第3回執行委員会・第2回闘争委員会 第96回メーデー大会第1回実行委員会 全国一斉集中労働相談ホットライン(各日10時00分~19時00分) 中部地協第1回単組代表者会議(18時30分~/倉吉体育文化会館) 西部地協第1回単組代表者会議(18時30分~/米子コンベンションセンター) 東部地協第1回単組代表者会議(18時30分~/さざんか会館) 2025春季生活闘争勝利総決起集会・東部/鳥取駅前風紋広場 ・中部/倉吉体育文化会館駐駐車場 ・西部/米子市公会堂前庭		上旬 第3回中小共闘センター幹事会(予定) 第3回広報・教育局会議(予定) 第3回組織局会議(予定) 第2回組織拡大推進委員会(予定) 組織拡大実務者研修会(予定) 第3回労働政策局会議(予定)	
3月	6日(木) 8日(土)	「36(さぶろく)」の日 ※3月6日前後に「街宣」を予定 3.8国際女性デー 女性委員会「3.8国際女性デー『学習会』」(予定) 第4回執行委員会・第3回闘争委員会	8月	7月下旬~8月上旬	◇平和週間 連合鳥取ピースウォーク(中央=中部、東部、西部)
	13日(木)	第2回男女平等局会議 第5回執行委員会・第4回闘争委員会 第96回鳥取県メーデー大会(中央=西部、東部地域、中部地域)		5日(火)~6日(水) 8日(金)~9日(土) 21日(木) 23日(土)	平和行動inヒロシマ 平和行動inナガサキ 第9回執行委員会 労組リーダーセミナー(予定) 2026政策・制度要求(鳥取県への要請行動)(予定)
4月	11日(金) 17日(木) 26日(土)	第2回男女平等局会議 第5回執行委員会・第4回闘争委員会 第96回鳥取県メーデー大会(中央=西部、東部地域、中部地域)	9月	6日(土)~7日(日) 12日(金)~13日(土)	平和行動inネムロ 防災学習会(予定) セイブティネットワーク集会(予定)
	上旬 中旬	第2回中小共闘センター幹事会(予定) 2025春季生活闘争要求・妥結状況(中間集計)をマスコミ公表 第2回組織局会議(予定) 第1回組織拡大推進委員会(予定)		16日(木)	第10回執行委員会 第4回組織局会議(予定) 第3回組織拡大推進委員会(予定) 第4回男女平等局会議(予定)
5月	15日(木) // 17日(土)	第2回国民運動局会議 第6回執行委員会・第5回闘争委員会 第32回連合鳥取杯親睦ゴルフ大会(旭国民浜村温泉ゴルフ倶楽部)	10月	4日(火) 20日(木) //	持ち回り執行委員会 第11回執行委員会 第33回定期大会 ワークルール検定2025秋
	7日(土) 7日(土)~15日(日) 19日(木) 23日(月)~24日(火)	第21回男女平等参画学習会(予定) ワークルール検定2025春 第7回執行委員会 平和行動inオキナワ 全国一斉集中労働相談ホットライン(各日10時00分~19時00分) 第3回男女平等局会議(予定)		△毎月5日「05(れんごう)の日」(街宣活動) ■「ゆにふあん」活動 ■「連合鳥取政治塾」の開催(月1回開催予定/企画中) ■推薦議員団会議の開催(連合鳥取、各地域協議会でそれぞれ年4回) ■男女平等月間期間 (6月) ■平和運動強化月間 (6月~9月) ■調整中/「中国・吉林省総工会招聘」(韓国労働委員会との交流) ■通年的な取り組み ①連合エコライフ ②「鳥取県環境フォーラム」への参加 ③エコドライブの実践 ④連合の森づくり ⑤買おう使おう仲間の商品・仲間のサービス ⑥定例街宣活動 など	
6月	7日(土) 7日(土)~15日(日) 19日(木) 23日(月)~24日(火)	第21回男女平等参画学習会(予定) ワークルール検定2025春 第7回執行委員会 平和行動inオキナワ 全国一斉集中労働相談ホットライン(各日10時00分~19時00分) 第3回男女平等局会議(予定)			

“ザ・議員”

いとう たもつ 伊藤 保 鳥取県議会議員

県内には、20世紀梨をはじめ大栄スイカ、花御所柿、プリンスメロン、ブドウのビオーネ等多種多様なフルーツがそれぞれの地域で栽培され、近年、過去最高の販売高を記録しています。

一方で、高齢化に伴う離農、選果作業員の不足、選果機の故障、病害虫の被害等、数々の問題も抱えており、これらの調査研究をするため、県議会に超党派の「フルーツ振興議連」を立ち上げました。9月9日には、東郷梨選果場とジョイント栽培の梨園視察、花御所柿等のカメムシ被害の実態調査と意見交換会を行いました。

今後も、引き続き現地に足を運びながら、課題を精査し、政策に反映していく予定です。



東郷梨選果場で意見を発表する伊藤県議会議員

ひいらぎ やすひろ 柊 康弘 境港市議会議員

昨年12月議会において「市職員の勤務中の服装」について質問をしました。

境港市では、例年5月から10月の期間中を「夏の軽装(クールビズ)」と定め、「上着なし・ノーネクタイ」での勤務を推奨していますが、その他の期間は特に定めはなく、「上着・ネクタイの着用」が暗黙の了解になっている現状があるため、通年で「ノーネクタイ・ノージャケット」での勤務を推奨しては」と提案しました。

境港市長からは「勤務中の服装は職員の判断に委ねているが、上着・ネクタイ着用の暗黙の了解がある。今後、職員へアンケートを実施し、働きやすい職場環境となるように努める」との答弁を引き出しました。



12月議会で質問する柊境港市議会議員

(横文字が苦手な
労組役員)



17の持続可能な開発目標(SDGs)が提示されて10年目となる▼一つ目の目標は「貧困をなくそう」とあるが、貧困に陥る原因は様々で、突然の事故や病気で家族を失う、不景気や災害によって仕事を失うなど、誰にでも起こりうる原因で貧困状態になる。他人ごとではない▼そして、親世代の貧困が子どもに大きな影響を与え、大人になっても貧困から抜け出せない貧困の連鎖もあるという。昨年、自組織の海外研修でフィリピンを訪れた。ゴミの山から、お金に換えられるものを収集し生活している地域では、労働組合が「炊き出し」をしていた。労組役員は、「食べることも大事なことではあるが、学校へ通えないことが問題」と訴えていた▼安定した仕事に就くことで経済的に自立し、貧困から抜け出すことに繋がる。日本でも「子ども食堂」や「フードバンク」といったサポーターがあるが、実に7人に1人の子どもの貧困状態にあるようだ。対岸の火事ではない。貧困をなくすために個人でできる事、組織としてできる事は何かあらためて考えさせられた。

SDGs